

宮田和信支部長(相澤病院)の「地域連携クリティカルパスについて」の基調講演の後、「脳卒中、がんの地域連携パスについて」と題し3名のシンポジスト、1名のコメンテーターによるシンポジウムが開催されました。

また、特別講演Iとして、厚生労働省保険局医療課企画官の宇都宮 啓先生より「平成20年4月診療報酬改定のねらい」と題し診療報酬改定の内容についてご講演を頂き、特別講演IIとして、国際医療福祉大学三田病院副院長武藤正樹先生に「クリティカルパス、現在・過去そして未来」についてのご講演を頂き、診療報酬改定と地域医療連携における現状と今後の展望について拝聴しました。ランチョンセミナーではエーザイ(株)より「医療安全への患者参加」と題し、いいなステーション代表 和田ちひろ先生の医療安全の講演がありました。

一般講演では、DPC 2題、医療安全 5題、地域連携・在宅医療・その他 4題、計11題の発表があり、活発な意見交換が行われました。

今回、本会が成功裏に終了することが出来たことは、長野県での診療報酬改定と地域連携における関心の高さの表われであり、ひとえに関係者の皆様方のご支援によるものと心より感謝申し上げます、開催の報告とさせていただきます。

第7回青森地方会

当番世話人：八戸市立市民病院看護局長 中里志保子



会場風景

第7回日本医療マネジメント学会青森地方会は平成20年7月5日(土)、186名参加のもと青森県八戸市で開催されました。

一般演題は、安全管理・対策、地域連携クリティカルパス、患者支援・看護運営・人材育成の3群で、13題の発表がありました。

特別講演では、佐久総合病院診療部長 西沢延宏氏による「佐久総合病院における医療マネジメント—DPC時代を迎えて—」、同じく佐久総合病院副看護部長兼地域連携室師長 山田明美氏による「佐久総合病院における地域連携パス」というテーマで講演を頂きました。佐久総合病院においてDPC導入にあたって、「医療の標準化をすすめ、その中でのクリティカルパスの充実、地域医療連携室の多機能化の推進」という根幹があり、その上で実際に地域との連携を進め、地域連携パス活用を推進している現場の生き生きとした活動を聞くことができました。青森県も地域連携パスを推進している中、今一番聞きたいテーマに会い、有意義な時間をもつことができました。学会に参加された方、ご協力いただいた方々に感謝いたします。

第3回宮城地方会

世話人代表：宮城県立がんセンター院長 西條 茂

日本医療マネジメント学会宮城地方会第3回学術集会は、平成20年7月12日(土)、仙台市医師会館で開催され、



会場風景

120名の参加がありました。

一般演題は25題で、「患者支援」「クリティカルパス」「チーム医療・地域連携」「経営改善」「業務改善」「安全管理I・II」の6つのテーマに分けられ、限られた時間の中、実践的な

発表、討論が行われました。

シンポジウムでは、「チーム医療の現状と将来」をテーマに4名の演者から「褥瘡チームから」「栄養サポートチームから」「感染対策チームから」「口腔ケアチームから」についてそれぞれの立場から発表があり、活発な討議が行われました。また、特別講演として筑波大学大学院ヒューマン・ケア科学の宗像恒次教授をお招きし「がん生存者とのホリスティックなコミュニケーション」と題して御講演いただきました。

次回の当番世話人は、石巻市立病院の伊勢秀雄院長です。

分科会等開催案内

平成20年度第1回医療連携分科会

テーマ：医療計画を理解する～これからの地域医療連携の展望と課題

平成20年度、全都道府県で一斉にスタートした医療計画では、4疾患5事業に代表されるように疾患毎の連携体制確立が求められるなど、計画のなかで「医療連携」が大きく取り上げられています。

これまでとは大きく異なる医療計画の概念と本質、方向をまず理解し、われわれ地域医療連携に従事するスタッフが何を理解し、どのような行動をおこすべきか考える機会としたいと思います。

医療連携にご関心をお持ちの皆様方の多数のご参集をお願い申し上げます。

- ・日 時 平成20年10月18日(土) 10:00～15:30
- ・会 場 日本医科大学 教育棟2階 講堂
(〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5)

・プログラム

- 10:00 開会
- 10:10～11:00 基調講演 I 「地域医療計画と4疾患連携クリティカルパス～とくに疾病管理概念に着目して～」
国際医療福祉大学三田病院副院長 武藤正樹
- 11:00～11:50 基調講演 II 「地域連携クリティカルパスが変える連携医療：喘息死0を目指して」
前橋赤十字病院呼吸器科副部長 堀江健夫
- 12:00～12:50 ランチョン「地域連携クリティカルパスとIT化」
済生会若草病院外科部長 佐藤靖郎
- 13:00～14:00 事例報告

①「適切な退院支援調整への取組」

NTT東日本関東病院ソーシャルワーカー 原田とも子

②「救急医療と地域医療を考える

救急受入(ベッドコントロール)の現場から

相澤病院看護部統括院長補佐 武井純子

(次頁へ)↗